

■秋山 稔（国際連携推進室長）2015年11月9日～11月13日

平成27年度医療技術等国際展開推進事業として筑波大学附属病院ではベトナム南部の拠点病院であるチョーライ病院で医療技術協力活動を行ってきました。その中でもひとつの主要なイベントである南部ベトナム地域の医療従事者を対象とした「術後管理セミナー」を11月12日に開催しました。参加者はチョーライ病院および南部ベトナム省病院スタッフを中心に約180名を数え、麻酔・手術部・ICU、心臓血管外科、脳外科、消化器外科の4つのセッションについて23題の演題が発表されました。筑波大学附属病院からは10名の参加者、7つの演題が発表されました。玉岡晃副病院長から開会挨拶があり各セッションには星拓男先生（茨城県地域臨床教育センター茨城県立中央病院麻酔科）、平松祐司先生、鶴田和太郎先生、小田竜也先生がそれぞれチョーライ病院の各分野の責任者ととも座長となり、最後に小職が総括を行いました。各セッションでは活発な討議が行われ、チョーライ病院スタッフのみならず北部から参加のベトドク病院や南部省病院のスタッフから筑波大学附属病院の演者に対して質問が行われました。チョーライ病院は、ベトナム南部省病院をサテライト病院として協力しており、その他にも南部省病院にスタッフを派遣する等ベトナム南部の医療の発展に大きな貢献をしており、今回のセミナーもその流れを引き継いで実施されベトナム医療の向上に貢献することができたと思います。今後も手術手技など技術的な協力のみならず、今回も発表があった看護分野やコメディカル分野の協力も含め、ベトナムにおける患者中心の医療の推進にチョーライ病院と伴に貢献する方向での活動の継続が望まれます。



「術後管理セミナー」会場（チョーライ病院内）



セミナーの総括



セミナー終了時集合写真